

予防医療の分野への取り組み「ホワイト・ジャック・プロジェクト」を開始

～第1弾として健診代行を行うハピネス・アイを子会社化～

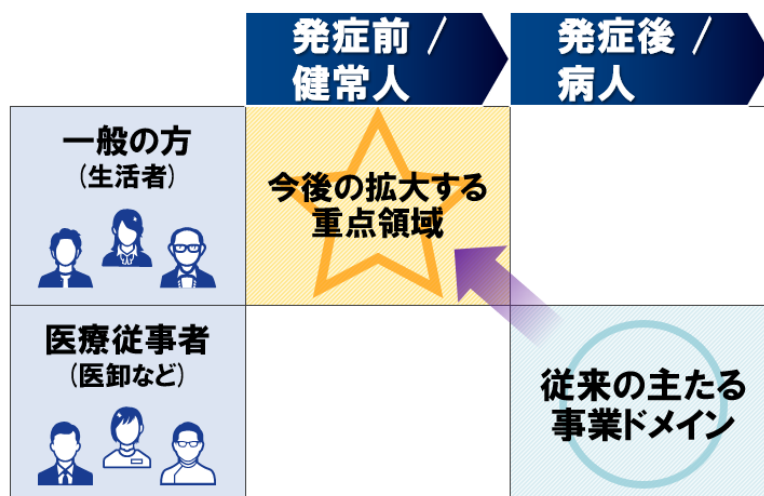
エムスリー株式会社(本社: 東京都港区、代表取締役: 谷村 格、URL : <https://corporate.m3.com/>、以下「エムスリー」)は、疾病の発症前の段階から健康状態を維持することを目的とした取り組み「ホワイト・ジャック・プロジェクト」を開始し、その第1弾として、健診代行を行うハピネス・アイを子会社化いたしましたのでお知らせいたします。

主たる事業ドメインとしてこれまで多くのサービスを展開してきた「疾病発症後の治療」に加え、重点領域を予防医療分野にも拡大することで、エムスリーグループのミッションである「インターネットを活用し、健康で楽しく長生きする人を1人でも増やし、不必要な医療コストを1円でも減らす」の実現に向け前進してまいります。

「ホワイト・ジャック・プロジェクト」と今後の取り組み

2016～2020年度の日本国内の医療費は平均42兆円¹となっており、国全体としての経済成長を上回るペースで増加してきています。医療費削減は社会的要請の大きい課題であり、必要となる医療費そのものを低下させていくための取り組みが不可欠であると考えています。

エムスリーは、従来主たる事業ドメインとして多くの関連サービスを提供してきた「疾病発症後の治療」に加え、「未病・予防医療分野」にも重点領域を拡大するとともに、当社グループにおいて本取り組み全体を「ホワイト・ジャック・プロジェクト」と呼称し、様々な施策を展開・推進していく予定です。「病気になってから治療を行う」ことにとどまらず、「そもそも病気になることをできるだけ予防する」ことで、エムスリーのミッションをより川上の段階から実現していくことを目指します。



¹ 厚生労働省『令和2年度 医療費の動向』

ハピネス・アイについて

今回「ホワイト・ジャック・プロジェクト」の第 1 弾として、健診代行を行うハピネス・アイを子会社化いたしました。

ハピネス・アイは誰もがいきいきと生きることのできる社会の実現を目指し、1985 年の創業以来「こころとからだのトータルヘルスケアサービス」の提供を通じて、働く人たちの健康を支えてきました。主力事業である健康診断事業は、企業の要望に応じて全国に 500 以上ある提携医療機関の紹介、健康診断の実施調整(受診予約)、結果処理までをトータルコーディネートしています。また、従業員健康管理クラウドサービス「ハピネスパートナーズ」では、全従業員の健康診断結果を一元管理できるほか、ストレスチェック結果や医師面談結果なども管理でき、健康経営を実施するためのインフラツールとして利用されています。

<期待されるシナジー効果>

① M3 Patient Support Program(以下、M3PSP)との連携

企業の従業員と家族を対象とした医療サポートサービスである M3PSP と連携し、相互の顧客に対してセールス活動を行い、1 企業あたりの提供サービス数を増やしていく取り組みを行います。ハピネス・アイの子会社化により法定健診から健康経営に貢献する福利厚生サービスまでフルラインナップでのサービス提供が可能になります。

② エムスリーグループと連携し新たなサービスを開発

ハピネス・アイを通じて健康診断を受診している従業員は全国で 46 万人となっており、健康診断データとエムスリーグループのアセットを掛け合わせることで、健康状態の可視化のみならず、従業員の健康寿命を延ばしていく取り組みも推進してまいります。

今後も、エムスリーグループでは、「インターネットを活用し、健康で楽しく長生きする人を 1 人でも増やし、必要な医療コストを 1 円でも減らす」というミッションのもと、社会的なインパクトをもたらす医療課題の解決に貢献していくことを目指してまいります。

■ハピネス・アイの会社概要

【設立】1985 年 7 月

【所在地】京都府京都市中京区烏丸通六角下ル七観音町 638

【URL】<https://www.happiness-i.co.jp/>

【代表取締役社長】 富田 英樹

【事業内容】

- ・ 健康診断事業
- ・ ストレスチェックサービス
- ・ 産業保健サービス
- ・ メンタルヘルスサービス
- ・ 従業員健康管理クラウドサービス など